

不具合事例		整理番号 T-06-001	
タイトル	現場試験未実施にて地下水揚水設備を計画し、過大な水処理設備となった！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、油類		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「現場試験を侮るな / ひと手間かけて費用最小」</p> <p>実際</p> <p>透水性が低く 計画量の揚水ができず</p> <p>想定</p> <p>透水層</p> <p>難透水層</p>		
作業内容	汚染地下水の揚水浄化		
使用機器	水処理設備、揚水ポンプ		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 汚染地下水の揚水浄化工事で、井戸の揚水試験を実施する時間的余裕がないまま地下水処理設備計画を立案して施工した。稼働してみると揚水量が少なかったために設備が過大なものとなった。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 調査実施時から対策工法を想定しつつ、必要な現場試験を工程に含めておくことが重要である。(計画者・監督者) 設計時には、現場試験を行い、水処理設備の設計条件を適正に把握する。(計画者・監督者)¹⁾ 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 設備仕様の縮小を考慮する。より多くの揚水量を確保しなければいけない場合は、井戸形式や揚水工法の再検討を実施した上で井戸を増設する等の対処を取る。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> この事例のような過大な計画の浄化対策を見直す場合、計画の再検討および設備の改造等により計画工程での浄化完了が難しくなる。 現場試験の結果がない場合、万一、揚水した地下水を処理し切れなかったことを考え過大な設計になりがちであるが、揚水浄化が目的であれば、(拡散防止の問題が無ければ) 揚水量を絞ることである程度水処理量の調節が可能である。 対象エリアが比較的広い場合には、降雨による処理水の増加も考慮すること。 			
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂版 p. 314-315		
キーワード	揮発性有機化合物対策、揚水浄化、現場試験、水処理設備		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

現場試験未実施にて地下水揚水設備を計画し、過大な水処理設備となった！

説明図



作業内容

汚染地下水の揚水浄化

指示事項

- ・調査実施時から対策工法を想定しつつ、必要な現場試験を工程に含め実施しておく。
 - ・プラントや工法の設計時には、現場試験の結果を反映させ水処理設備の設計条件を適正に把握する。
- 【その他の留意事項】
- ・対象エリアが比較的広い場合は、降雨による処理水の増加も考慮する必要がある。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン